



桐陽高校チアリーダー一部。全国大会出場に向けて日々練習中。



大学の運動部や社会人サークルなどのスポーツ合宿を受け入れ。風光明媚な景色も好評。

地域で支えるウイズスポーツ

皆さんは自分の暮らす地域に、沼津市スポーツ推進委員(以下推進委員)がスポーツのすばらしさや楽しさを広めるべく、日々奮闘していることをご存知ですか？

現在、市内では92人の推進委員が委嘱されており、市のスポーツ振興・発展のため、市が主催する様々な事業に参加したり、多くの人が楽しめるスポーツ大会を主催しています。今回、ウイズスポーツの特集にあわせ、推進委員に話を伺いました。



我入道海岸で開催されたサップヨガの体験。沼津の海は多様なマリンスポーツを楽しめます。



廃校をリノベーションして造られた自転車トラック。

たくさんの人に楽しんで欲しいから

6月のある日、金岡小学校の体育館に響く控えめな歓声と、コン！という木と木がぶつかる音。20人ほどの推進委員と市内各地から自治会単位のチームが集まり、「モルック」というスポーツに興じていました。

金岡地区推進委員の石原孝信さんは「モルックは、ダーツとボウリングを合わせたような北欧発祥の競技なんです。子供からシニアまで、誰でも楽しめるのがいいところ。ほら、そのコートでは年輩の人が高得点を出しましたよ」と、参加者の多くが「みんなできると楽しいね」とモルックに熱中する姿に目を細めます。

地域にもっとスポーツを

沼津市スポーツ推進委員連絡協議会の小菅会長は「地域でスポーツを楽しむってすごく健全なことだと思うんです。心も体も健康になるし、ご近所さんとコミュニケーションも取れるし、みんなで一緒にやることで連帯感が生まれる。地域で案内やお誘いがあったら、ぜひ参加して欲しいですね」と語ります。

社会的な距離に関心が集まる昨今、スポーツは地域の皆さんを繋げることに役立っています。自分の暮らす地域の推進委員の活動に注目し、スポーツを楽しんでみてはいかがでしょうかでしょう。

市が支えるウイズスポーツ

本市では、関係団体と協力し、ぬまづ健康スポーツ祭や町別バレーボール大会の運営など、スポーツのきっかけづくりに取り組んでいます。様々な連携を通して、スポーツを楽しみながら心の交流を図り、体力向上・健康増進を実現する環境づくりを展開してきました。

また、サイクルツーリズムの推進やスポーツ合宿の誘致、地域のプロスポーツチームとの連携によって経済の活性化などを図る産業振興の面でも着実に実績を積み上げています。

令和3年度から10年間のまちづくりの基本理念や目指すべき将来像など、まちづくりの基本方針となる「第5次沼津市総合計画」では、重点的に取り組む4つの視点のうちのひとつに「スポーツを活用したまちづくり」を挙げています。

今年4月、これまで教育委員会事務局内にあった【スポーツ振興課】と、産業振興部の【スポーツ交流推進課】というスポーツに関する2つの部署を統合し、【ウイズスポーツ課】が誕生しました。

異なる分野にありながら、スポーツという共通項をもつ部署を統合することにより、スポーツに係る施策を一体的に実施する体制を構築し、【スポーツを活用したまちづくり】をさらに推進していきます。

まちづくりの主役は市民の皆さんです。毎日の暮らしがもっと充実するように、そして沼津がもっと魅力的になるように、みんなで「一緒に」スポーツを盛り上げていきましょう。楽しいから、昂るから、気持ちいいから。どんな理由でも構いません。

市民一人ひとりがひとつ以上のスポーツに関わり、ウイズスポーツな生活を楽しんでいきましょう。



沼津市スポーツ推進委員によるモルック解説動画

